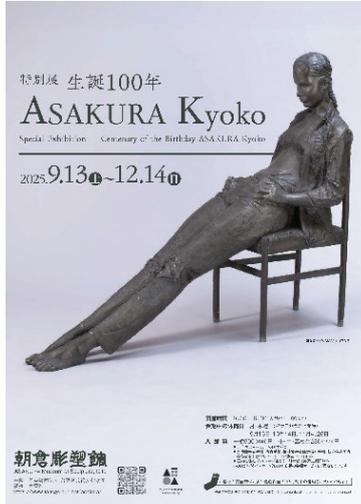


特別展 生誕100年 ASAKURA Kyoko

Special Exhibition — Centenary of the Birthday ASAKURA Kyoko



◆開催概要

展覧会名:特別展 生誕 100 年 ASAKURA Kyoko

会期:2025 年 9 月 13 日(土)~12 月 14 日(日)

開館時間:9 時 30 分~16 時 30 分(入館は 16 時まで)

休館日:月曜日・木曜日(祝休日は開館)

入館料:一般 500 円/小・中・高校生 250 円

主催:公益財団法人 台東区芸術文化財団、台東区立朝倉彫塑館

住所:〒110-0001 台東区谷中7丁目 18 番 10 号

TEL:03-3821-4549 FAX:03-3821-5225

※掲載内容に変更が生じる場合があります

◆はじめに

本年は朝倉響子の生誕100年という節目の年であることから、その歩みを振り返り、実像に迫る回顧展を開催いたします。本展は、本年5月 11 日から 21 日に上野の森美術館ギャラリーで開催された展示とともに、没後初めて開催される回顧展です。奇しくも、上野の森美術館ギャラリーは響子が生前最後の個展を開催した場所であり、当館は響子が彫刻家としてのスタートを切った場所です。当館で見る作品は、街に溶け込んだ作品とは、また違った力を放つように感じられます。ぜひ、響子が育ち、彫刻家としての端緒を開いた場所で、響子作品をご堪能ください。

◆展覧会趣旨

彫刻家 朝倉響子(1925~2016)は、やはり彫刻家であった父 文夫(1883~1964)の庇護のもとにあることをよしとせず、早くから独立不羈の精神を発揮します。自由であることを大切にし、そのための努力を惜みず創作活動に邁進しました。やみがたい創作への情動を内にひめつつ洗練された都会的な女性像を多く制作し、自身の様式を確立していきました。これまで当館において、父娘の作品が同空間に展示されることはありませんでした。本展ではアトリエに響子作品が並び、はじめて父娘が創り出す彫刻空間が現出します。その空間に身をおき、ふたりの彫刻家の息吹を感じてみてください。

◆ポイント

70 年有余にわたる響子の創作活動においては、その初期から晩年に至るまでの間に顕著な作風の変化が認められます。本展では“覚悟”“研鑽”“昇華”“信念”という4つのキーワードでその変遷を追います。

◆関連イベント

ワークショップ「塑造に挑戦！人体を作ろう」

10月4日(土)13:00~(2~3時間) 事前申込み制

講師:木本諒氏(彫刻家、専門学校講師) 芯棒づくりから塑造の基礎を学びます(作品はお持ち帰りできません)

WEB サイトよりお申込みください

バースデー企画「朝倉響子の誕生日をお祝いしよう」

12月9日(火) 入館者先着 200 名に響子作品の絵はがきをプレゼントします

ギャラリートーク

9月17日(水)、10月15日(水)、11月19日(水) 各日 14:00～(30分程度)

担当学芸員が特別展の見どころを解説します (申込み不要、参加費無料 *入館料が必要です)

展示解説は YouTube でも配信予定です

◆ご注意

お客様の安全確保および建物保全のため、靴下の着用をお願いいたします

当館は個人の邸宅だったため、バリアフリーには対応していません

気象状況等により、屋上を閉鎖する場合がございます

◆展覧会・広報

本展をメディアでご紹介いただく際は、次頁の申込書にて広報担当までご連絡ください



1



2



3



4



5



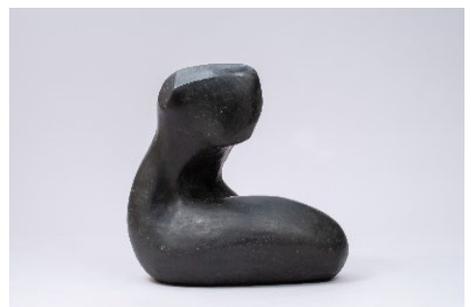
6



7



8



9



10



11



12

1 朝倉響子《原題不明(女性首像)》1958年、2 朝倉響子《原題不明》1964年、3 朝倉響子《ツキー》1978年頃、4 朝倉響子《ナナ》部分 1978年、5 朝倉響子《WOMAN》1973年、6 朝倉響子《タミー》1991年、7 朝倉響子《マリ》1984年、8 朝倉響子《アリサ》2008年、9 朝倉響子《原題不明(トルソー)》1967～70年頃、10 姉 朝倉撰のスケッチより頬づえをつく響子、11 朝倉彫塑館外観、12 展覧会ポスター

◆画像提供のご案内

特別展広報用画像をご提供いたします。ご希望の方は申込書にご記入の上、FAX またはメールにてお申し込みください。
メールまたは画像送信サービスにてお送りいたします。 下記使用条件を必ずご確認ください

【使用条件】

- ・ 広報用画像のご使用は、本展の紹介に限らせていただきます
- ・ 作品写真の掲載には、作者名、作品名、制作年を必ずご記載ください
- ・ 作品を部分的に切り取っての使用、ならびに文字や他のイメージを重ねることはご遠慮ください
- ・ 美術作品のため、レイアウトにご配慮ください
- ・ 情報確認のため、お手数ですが事前に校正用原稿等をお送りください
- ・ アーカイブのため、掲載誌(紙)、番組収録のDVD などをお送りください

画像提供申込書

台東区立朝倉彫塑館 広報担当 行

FAX: 03-3821-5225 / E-mail: asakura-event@taitogeibun.net

貴社名: _____ ご担当者名: _____

連絡先 E-mail: _____

連絡先 TEL: _____ FAX: _____

使用媒体(○で囲んでください): _____ 新聞 _____ テレビ _____ 雑誌 _____ WEB _____

その他(_____) ※企画書のご提出をお願いする場合があります

掲載紙・誌・番組名(予定コーナー): _____

放送・発行予定日: _____

広報用画像データ(ご希望の画像番号を○で囲んでください)

1	朝倉響子《原題不明(女性首像)》1958年	2	朝倉響子《原題不明》1964年
3	朝倉響子《ツキー》1978年頃	4	朝倉響子《ナナ》部分 1978年
5	朝倉響子《WOMAN》1973年	6	朝倉響子《タミー》1991年
7	朝倉響子《マリ》1984年	8	朝倉響子《アリサ》2008年
9	朝倉響子《原題不明(トルソー)》1967~70年頃	10	姉 朝倉撰のスケッチより頬づえをつく響子
11	朝倉彫塑館外観	12	展覧会ポスター